

# 第 764 回 新潟医学会(オンライン講演会)

第 764 回新潟医学会・オンライン講演会を下記の要領によって開催致しますのでご案内申し上げます。  
大学院生、学部学生の皆様、看護師、医療関係者の方々の出席を歓迎します。参加料は無料です。  
ZOOM URL については新潟医学会事務局にメールでお問い合わせください。

日 時 令和 4 年 4 月 21 日 (木) 18:00 から

新潟医学会集会幹事

記

I. 特別講演 (18:00~18:20) 座長 吉嶺 文俊 先生(新潟県立十日町病院 院長)

「人口減少時代の Active Ageing」

菖蒲川由郷 先生

(十日町いきいきエイジング講座 特任教授)

十日町いきいきエイジング講座は 2019 年 10 月に十日町市の寄付により十日町地域の医療と介護のシステムづくりを目的として開設した。少子高齢化と人口減少の波は都市部に先がけてすでに農村部に大きな影響を与えている。本講ではこれまでの講座の実績を紹介するとともに、十日町地域の未来の医療と介護を検討する中で見えてきた超高齢社会日本の課題と解決の方途について考察する。

II. 特別講演 (18:20~18:40) 座長 福地 健郎 先生 (眼科学 教授)

「新潟大学眼科の未来への貢献」

赤木 忠道 先生

(眼科学 准教授)

2021 年 4 月から新潟大学眼科学分野の准教授を務めさせていただいております。以前は京都大学眼科に所属していました。緑内障が専門ですが網膜硝子体手術の経験も豊富で、難症例の手術治療などを得意とします。研究でも緑内障の臨床研究から網膜の基礎研究など様々な経験をしてきました。本講演ではこれまでの私の経歴を紹介させていただき、その経験を今後の新潟大学眼科に還元する方向性について考える機会とさせていただければ幸いです。

III. 特別講演 (18:40~19:00) 座長 堀井 新 先生 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)

「口腔癌に対する RI を用いないセンチネルリンパ節生検法の試み」

本田 耕平 先生

(魚沼地域医療教育センター

魚沼基幹病院耳鼻咽喉科 特任教授)

口腔癌では、臨床的に頸部リンパ節転移を認めない N0 症例であっても潜在的な頸部リンパ節転移の可能性があり、頸部の取り扱いには非常に重要である。早期口腔癌におけるセンチネルリンパ節生検術はその有用性は認められているものの RI を使用し煩雑な手技を伴うためコストや設備の問題から普及していない。我々は術前 CT リンパ管造影法と術中 ICG 蛍光法を組み合わせた RI を用いない簡便なセンチネルリンパ節生検法を検討してきたのでその有用性を報告する。

IV. 特別講演 (19:00~19:30) 座長 尾崎 和幸 先生 (循環器内科学 准教授)

「心不全パンデミック」

猪又 孝元 先生

(循環器内学 教授)

超高齢化社会を迎え、心血管病の終末像としての心不全患者が増加している。心不全は、繰り返し入院を特徴とし、医療現場の疲弊に繋がる社会問題へと捉えられつつある。慢性進行性の基本病態と、フレイルなど多疾患有病という背景を踏まえ、今後目指すべき心不全管理を地域医療の観点も踏まえ概説する。

V. 特別講演 (19:30~20:00) 座長 五十嵐博中 先生 (脳研・生体磁気共鳴学 教授)

「『脳神経は苦手』なあなたへの処方箋」

島田 斉 先生

(脳研・臨床機能脳神経学 教授)

みなさん、脳神経(精神神経疾患)は好きですか? 蓼(たで)食う虫も…とはよく言われることですが、これだけ好き嫌いが分かれる分野はめずらしい気がします(N=1 の私見です)。『だって脳の病気は血液検査で異常がでないし、CT や MRI を見てもよくわからないし。』わかりました、それでは脳内の異常が一目でわかる画像をお見せしましょう。本講演は脳神経がちょっと苦手なあなたにこそ見てほしい、神経恐怖症に対する一通の処方箋です。

新潟県医師会生涯教育講座の認定を申請しております。

**大 学 院 特 別 講 義**

(連絡先) 新潟医学会事務局

TEL 025-227-2032

e-mail igakukai@med.niigata-u.ac.jp